

短い3学期を充実させよう！

3学期がスタートして今日で8日目の登校日です。このペースだと47日間はあっという間に過ぎて行ってしまいそう。一日一日を大切にしていきたいものです。

今号は、子どもたちが熱心に取り組んでいる活動に視点を当ててお伝えします。

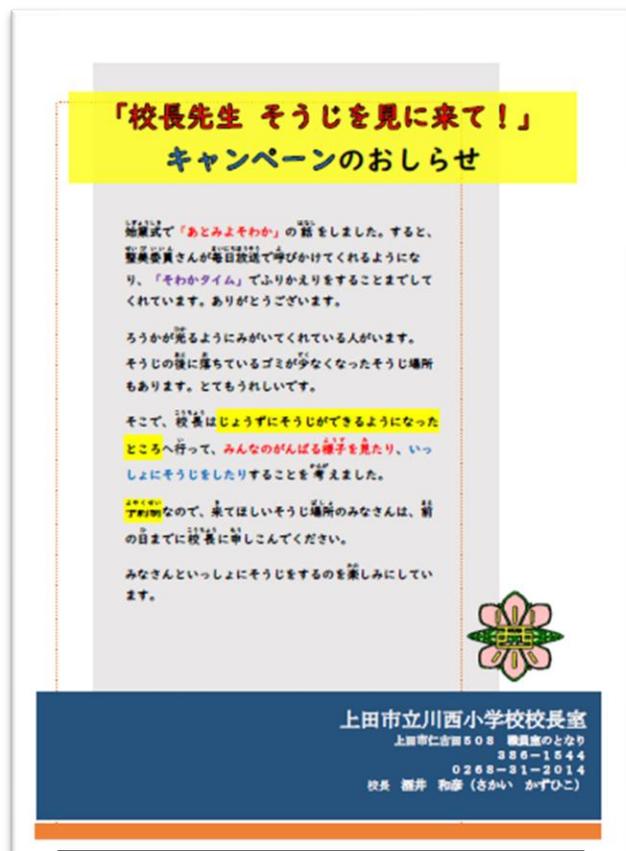
「あとみよそわか」

始業式に「3学期はおそうじに力を入れよう」と話しました。その際、明治の文豪 幸田露伴さんが娘の文さんに言った言葉として伝えられている「あとみよそわか」についても触れました。「そうじをした後、もういいと思っても、跡をよく見てもう一度確かめなさい。」といった意味のようです。

その後、清掃・美化教育係の先生方が私の話したことを後付けしてくださり、児童会の整美委員会でも毎日の放送で「『あとみよそわか』はできていますか?」と呼びかけたり、昨日からは「そわかタイム」というその日の掃除を振り返る時間を設けたりしてくれています。

そうした動きがうれしかったので、私は今日から「校長先生 そうじを見に来て！キャンペーン」なるものを始めました。おそうじが上手になってきたら、校長をそうじに誘って一緒にそうじをしましょうという内容です。1日に1か所しか行けませんし、出張などで居ない日もありますから**完全予約制**としました。「予約制にしたところで、まあ、そんなに簡単にお声はかからないかな」と思っていたのですが、5年2組の担任の先生から「家庭科室の掃除の子たちが頑張っているの、よかったら見に行っていただけませんか?」という依頼がありました。子どもたちからのおさそいではありませんでしたが、喜んで行かせてもらうことにしました。

私が先に着いたので、椅子を机の上にあげたりして待っていました。次々と**集まってきた5年生は4人**。そうじに関係することのほかはしゃべることなく、どんどん自分の役割をこなしていきます。普段はそこにいることがない私がごみを集めていても、



今日配ったキャンペーンのチラシ

タイミングよくハウキ担当の子が片付けてくれました。2学期末大掃除で経験をしたからでしょうか、大掃除でなければ目を向けることが少ない棚の上も、しっかりきれいにしてくれました。そして、時間になったら「そわかタイム」。4人では広い家庭科室を1日で隅々までそうじすることは難しいので、床や机の上のように毎日そうじするところと、日によって取り組む場所を変えながらそうじするところを決めてやろうと話し合っていました。

児童会を引き継いでいく立場の5年生。さすがです。

来週以降、今度は子どもたちが予約しに来てくれると嬉しいなと思っています。

冬の体力づくり (続報)

川西小マラソンは150周用のカードが終わって完走賞をもらった人が増えてきます。せっかくなので記念写真を撮って飾っていますが、これからもどんどん増えそうです。プラス50周の川西小マラソンカード「^{きわみ}極」も走り終わった子が出てきており、体育係の先生は新しいカードはどうしようかと、うれしい悲鳴をあげています。

大なわとびも盛り上がりがすごいです。縄を回すスピードがかなり速くなり、間を空けずに連続して跳べるようになってきたクラスが増えました。低高別の大縄大会まであと少し。ますます盛り上がっていきそうです。

